

令和5年度 第4回 追分小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月19日（月） 13時30分から15時10分まで
- 2 開催場所 浜松市立追分小学校 会議室
- 3 出席委員 松田 勝、松本 依子、小山 正博、大澤 一夫、内山 丈夫、村上 美代子、伊藤 隆之、今泉 るり子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 坪井 百合子（校長）、平野 直孝（教頭）、佐野 尚也（CS担当）
山田 公子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 山田 公子
- 9 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に確認を行い、松田会長より松本副会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1） 学校関係者評価について
- （2） 学校運営協議会の自己評価について
- （3） 来年度の学校運営基本方針の説明について
- （4） 夢育やらまいかCS加算分の報告について

11 会議記録

司会の平野教頭から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- （1） 学校関係者評価について（「いじめ防止基本方針について」含む）

議長の指示により、佐野（CS担当）から、学校評価アンケートの結果報告があった。第1回学校運営協議会にて承認された学校運営の基本方針に基づき教育活動を行ってきたことにおける、児童・保護者・教員へのアンケートである。結果説明を受け、よりよい学校づくりを目指すために必要な改善点や持続すべき点について話し合わせ、委員からは以下の発言があった。

①挨拶について

- ・登校時に、こちらから声を掛けると反応してくれる児童が増え、向上している。（村上委員）
- ・挨拶と感謝、そして礼儀正しさは大変重要である。学校だけでなく、同時に家庭でもその力を育てる必要がある。（小山委員）
- ・今年度から始まった「挨拶パンダ隊」を継続し、子供たちの自主的な活動を大切にしながら、今後少しずつ成果を上げていきたい。（CS担当 佐野）

②進んで読書している

- ・自分から調べることが大切だ。複数の手段を用いて学んでいくことが、多様な学習活動となる。そういった観点からも、図書の学習パックというシステムは機能的である。（松田会長）

③目標・夢をもっている

・夢に向かい、まずはみんながもちやすい目標を見だし、設定できるよう検討し、学校と家庭で協力して導いていくこと大切である。(内山委員)

・大きな目標に向かって進む過程を、学校や家庭が段階的に確認し、努力を認めることが子供にとって励みになる。(松田会長)

④運動・体を動かす・遊びを習慣化

・アンケートで肯定的回答率が下降気味であるようだが、体育館裏の運動場がなくなったことにより、体を動かす機会が減ったことも一因ではないか。ある学年では、城北小の同学年とリレーなど交流会が行われている。単級の学年が多いため、普段、校内でほかのクラスと競わない。ゆえに、こういった活動が向上心につながる。また、中学校で合流する子も多いため、よい交流の場となり、来年も続けていただきたい活動である。(伊藤委員)

・今年度行われたドッジボールラリーは、ただ体を動かすのではなく、友達と一緒にという楽しさもある。人間関係の中で学び、体力を自分のものとするのは大切だ。また、持久走の練習においても、100周達成者に対して、賞状だけでなく放送をしたことは、個人としての喜びと社会的な喜びの両方が叶い、素晴らしい取り組みである。(松田会長)

・ドッジボールラリーは、相手が捕りやすいボールを投げるなど、相手の次の行動を予知し、思いやることにつながる(小山委員)

⑤学校は、家庭・地域と協力している

・消防の第三分団が来校し、活動の紹介をしてくれた。実際にホースを持たせてもらうなど、実感を伴った経験は、印象に残り素晴らしい学びである。(松田会長)

・他校では、保護者からボランティアを募って、低学年を中心に、給食など教育活動のお手伝いをしているところもある。先生1人では大変なときもあると思う。保護者に協力を求めることで、活動がスムーズになるのではないか。(今泉委員)

・今泉委員の意見は大変興味深い。PTAでも呼びかけを検討したい。(伊藤委員)

・いじめ防止対策を含め、全体としてとてもよい取り組みができています。自己評価の分析や改善策についても、とてもよく考えられている。継続して行ってほしい。(大澤委員)

(2) 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、松田会長から、別紙資料に基づき自己評価について報告があった。

(3) 来年度の学校運営の基本方針の説明について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき次年度の学校運営の基本方針について説明があった。根幹は変わらず、主体性を育成していくことによりウェルビーイングの実現につながり、楽しい学校を目指していく。他方、来年度は全て単級になるため、状況に合わせ、精選化もしくは焦点化した方針を設定したとの説明があった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 夢育やらまいかCS加算分の報告について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいかCS加算分について説明があった。

その他報告事項等

学校支援コーディネーターの今泉委員から、今年度の活動報告があった。

司会から、次回会議は、2024年4月25日（木）午後1時30分から追分小学校会議室で開催する旨の報告があった。